

行動シート

行 動 主 体 名	下甌支所 地域振興課
課・室・施設長名	下江 伊八郎
組 織 の 使 命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所内の連絡調整 ・ 地区コミュニティ協議会との連携 ・ 適法・適正な課税の実施 ・ 市税等の現年滞納分及び過年度滞納分の徴収
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ協議会の充実を図り, 地域振興計画の策定支援 ・ 市税等の収納対策の強化
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員間の相互応援体制による事務執行
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな声で挨拶をして, 笑顔で対応 ・ 親切丁寧な電話の対応の励行
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課職員全体が資料を共有する等用紙の節約 ・ 封筒・ファイルの再利用

行動シート

行動主体名	下甑支所 市民福祉課
課・室・施設長名	松田 元廣
組織の使命	<p>自ら作り，皆で支え合う健康長寿社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民窓口サービスの向上 ・ 健康に対する意識向上と参加の促進 ・ 医療施設及び設備の充実強化・予防医療の充実 ・ 社会福祉推進体制の強化充実 ・ 介護保険制度の適切な運用
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康相談・教室，生活習慣病等に対する意識啓発の推進に努める。 ・ 窓口業務での住民への対応，サービスに努める。 ・ 医療機器等の段階的整備を進めながら市民のニーズに対応できるよう努める。保健・医療・福祉を推進し，予防を重点においた指導に努める。 ・ 社会福祉協議会や民生委員との連携を強化するとともに職員の資質向上に努める。 ・ 介護が必要な高齢者に対して必要な人が必要な時にサービスが受けられるよう努める。 ・ ごみの減量化やリサイクルを推進し，特に粗大ごみ処分場の適切な維持管理に努める。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口：移動連絡車業務で大事なことは市民への対応，接遇が重要であり，待ち時間を短く処理できるよう職員の質向上を図る必要がある。 ・ 福祉・保険関係等の事務，給付に関する事務処理が遅滞しないよう職員の資質向上を図る。 ・ 一人の職員が持つ事務分掌が多いので職員一丸となり住民へのサービスが低下しないよう体制を強化する。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民福祉課にとっては，戸籍窓口及び診療所に関しても直接市民と接する業務であるので相手の立場を理解し誠意を持って接するよう努め，職員全員が知識向上するように定期的な事務分掌の見直しを図りながら事務の執行状況の確認，意見交換等もしながら研修会等への積極的な参加を図っていきたい。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食時間等業務に支障がないパソコンについては，各自，責任を持って電源を切るように努める。 ・ 各施設については，光熱水費等の節減に努める。

行動シート

行動主体名	下甌支所 下甌手打診療所
課・室・施設長名	瀬戸上 健二郎
組織の使命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に密着した下甌島地区の医療機関として、信頼のある医療の提供と市民の健康管理の積極的推進及び経営の健全化 ・ 他の医療機関等との連携
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少,高齢化の進む中において, 離島医療に対する住民の信頼を確保できる医療器械の整備 ・ 職務に関する認識の向上
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁市民福祉部市民健康課との連携を取りながら経費の節減を図り診療収入の向上に努める。
待遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内研修を実施し, 質の高いサービスに心がけ, 住民に信頼されるよう職員の意識の研鑽に努める。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者住宅及び所内の光熱水費の節約を図り, コピー代, 電話代等の節約, 医療消耗品の節約, 保守点検, リース料等について, 見直しを行う。

行動シート

行動主体名	下甌支所 下甌長浜診療所
課・室・施設長名	岩元 健二
組織の使命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に密着した医療機関として、良質な医療の提供と市民の健康管理の積極的推進
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の進む中であって、医療に対する住民の期待は大きく、安定した医師確保が必要。 ・ 職員一人ひとりが医療サービス提供のプロとしての意識を常にもち、住民の信頼を得る。
事務改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療所間の連携、各専門医との連携を積極的に推進する。 ・ 受付から診療、投薬、精算までの一連の業務がよりスムーズにいくよう所内の連携を図る。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所内研修を月2回実施し、質の高いサービスに心がけ、住民に信頼されるよう努める。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託事業のうち保守点検等について、真に必要なものか見直しを行う。

行動シート

行動主体名	下甌支所 甌島敬老園
課・室・施設長名	宮野 勝友
組織の使命	利用者に不安を与えないような、質の高い福祉サービスの向上を図る。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>課題及び現状 介護保険制度施行後の入所者の確保(定数割れ)</p> <p>高齢化の進む中であって、福祉行政に対する住民の期待は大きいため、社会福祉施設の整備が必要。</p>
事務改善に関する 行動計画	本庁高齢・障害福祉課及び国保介護課と密接な連携が必要。
接遇改善に関する 行動計画	職場内研修を実施して、住民はもちろん、入園者に信頼されるような職員としての資質向上を図る。
経費節減に関する 行動計画	施設内で委託可能な部分については、積極的に見直しを行う。

行動シート

行動主体名	下甌支所 産業課
課・室・施設長名	南 隆文
組織の使命	<p>下甌支所における地域産業の構築と浮上</p> <p>産業課は、事業課として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業の振興について ・水産業の振興について ・商工業の振興について <p>が使命としてあげられる。</p> <p>・観光業の振興について</p>
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>これらの振興を図るための、農林水産物加工センターや離島物産開発センター、竜宮の郷、観光船おとひめ、手打港待合所、キャンプ場、武家屋敷跡の街路灯などの施設を管理している。</p> <p>これらの施設は老朽化が進み、今後維持補修費などの経費がかかってくると思われる。</p>
事務改善に関する 行動計画	<p>これらの施設は、地元にとって必要な施設であるために今後も維持しなければならない。そのためには利用者等と施設の現状について協議を行い、担当者それぞれが定期的に施設を見直す事が必要である。そのことによって、最終的に大きな補修にならず少ない経費で施設を運営することができる。そのことが無駄な経費を省くことにつながる。</p> <p>また、台風常襲地である甌島地区にとっては、台風災害を未然に防ぐ手だてにもなる。</p> <p>施設の現状を把握する。(施設レポートの作成)</p> <p>各施設に担当を割り当て、次の事をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在どのような維持費がかかっているか。 (継続経費か臨時的経費か) ・今後、どのような経費が見込まれるか。 ・利用者が誰でどのような目的で使っているか。 ・利用者の声が反映されているか。
接遇改善に関する 行動計画	<p>産業課にとっては、観光船おとひめや竜宮の郷といった観光施設を運営しており、観光客に対する接遇は非常に大切であり、接遇如何では薩摩川内市のイメージダウンにつながりかねない大きな意味を持つ。</p> <p>課員一人ひとりが接遇の重要性を認識して、観光客に質の高いサービスを提供出来るように心掛けたい。また、そのための協議も実施したい。</p>
経費節減に関する 行動計画	<p>施設レポートの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設レポートに基づきそれぞれの施設を職員で回り再検討する。 ・検討事項の目的達成点を設定する。 ・検討事項を利用者に周知する。 ・結果を定期的にまとめ再検討する。

行動シート

行動主体名	下甌支所 建設水道課
課・室・施設長名	宮 三千朗
組織の使命	下甌地域における道路をはじめとする社会施設の整備維持, 市民生活の生命線である上下水道の保守, 住宅困窮者に市営住宅の供給, その施設の維持管理, 市民の大切な財産の地籍調査による保守等を図り市民福祉の向上を使命とする。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	水道の漏水に対しては現在直営で補修等に対応しているが, 担当職員の負担が大変大きいので, すぐに無理でも本庁のように当番制で対応できるよう管工事業者の育成, 協議を考えていきたい。
事務改善に関する 行動計画	支所では, 1人何役の業務を担っている現実である。担当者がいないときもスムーズな対応ができるよう, 主な担当業務でなくても, 仕事に精通するよう, 現場に同行して自分が担当でない仕事を覚えるようにする。
接遇改善に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の励行。 ・ お客様(市民)が見えたら用事を伺うため職員から話しかける。 ・ 工事計画等は地権者・地区民に文書・説明会放送で説明責任を果たす。 ・ 電話対応については言葉づかい, 用件など丁寧に応答する。
経費節減に関する 行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼休みの消灯, 帰庁後のパソコン・印刷機・コピー機の電源オフの徹底。 ・ 通信については, メール使走便を利用し, 郵便は最小限にする。 ・ 公用車利用については同方向に用件があるときは便乗する。

行動シート

行動主体名	下甌教育支所 教育課
課・室・施設長名	和田 正富
組織の使命	『地域に誇りをもち、創造力と行動力あふれる人材づくり』を基本目標とし薩摩川内市教育委員会の重点施策を踏まえ、健康で思いやりがあり、教養・文化の香り高い、自ら学び続ける町民の育成を目指す。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	住民の生活意識の変化や高齢化の進行、連帯意識の低下等に対し、各種団体、公民館等の自主的活動は生涯教育等の充実・振興に大きな役割を果たし、地域コミュニティ形成の源になっている。幸いにもこの4月から地区コミュニティ協議会が設置されスタートした。自ら考え行動する住民主体のまちづくりの実現が期待される。行政組織も大きく広がり、地域の連帯感を深めるためにも、本庁の指導を仰ぎながら、鹿島地域と下甌地域の教育機関の一体化を図る必要がある。
事務改善に関する 行動計画	<p>初心に帰り事務の見直しと洗い直しを行う</p> <p>地区コミュニティ協議会との連携を図る</p> <p>鹿島地域と下甌地域の教育機関の一体化</p> <p>スクールバス及び給食運搬事業の民間委託</p> <p>学校主事7名の嘱託化</p>
接遇改善に関する 行動計画	<p>常に先を見通した行動を心がけ、ゆとりを持った丁寧な職務遂行に努める。</p> <p>住民からの問い合わせや相談等に対しては、誠意ある対応や迅速な事務処理に努める。</p>
経費節減に関する 行動計画	<p>鹿島地域と下甌地域の教育機関の一体化</p> <p>スクールバス及び給食運搬事業の民間委託</p> <p>学校主事7名の嘱託化</p> <p>交通網が整備されることにより小中学校及び幼稚園の統合化</p>

行動シート

行動主体名	下甌教育支所 学校教育課
課・室・施設長名	原口 健児
組織の使命	「地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり」を基本方針とし、主体性・創造性・国際性を備え、人間性豊かでたくましく生きる薩摩川内市民の育成をめざすとともに、生涯学習の観点に立ち、学校・家庭・地域の協働による心豊かな人間性を育む「薩摩川内らしい教育」づくりに努める。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>ア これまでの鹿島・下甌地域ではぐくまれてきた豊かな自然や伝統文化を尊重しながら、新たな薩摩川内市としての一体感のある取組や実践が必要である。</p> <p>イ 県教育委員会及び薩摩川内市教育委員会本庁並びに各支所等とより一層の連携を図る必要がある。</p> <p>ウ 鹿島・下甌地域の各学校，教育機関，地域等との連携を図りながら，知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成及び特色ある期待に応える学校づくりを推進する必要がある。</p>
事務改善に関する 行動計画	<p>ア 薩摩川内市の教育方針をふまえ，薩摩川内市及び鹿島・下甌地域固有の豊かな自然環境や教育的風土・伝統を活かした教育活動を積極的に推進する。</p> <p>イ 個に応じたきめ細かな指導等のより一層の充実に努め，基礎学力の向上・定着及び豊かな心やたくましい体の育成を図り，保護者・地域住民の負託や期待に応える学校づくりを進める。</p> <p>ウ 説明責任及び結果責任等を果たし，学校における評価システムの改善・充実に努める学校の体制づくりを進める。</p>
接遇改善に関する 行動計画	<p>ア かねてよりあいさつ・言葉遣い・電話対応・服装等について配慮し，誠意をもって対応し適正かつ迅速に処理する。</p> <p>イ 児童生徒及び地域住民・市民本位の対応に努める。</p> <p>ウ 「開かれた学校・職場」づくりやゆとりもった円滑な職務遂行に努める。</p>
経費節減に関する 行動計画	<p>ア 「節電・節水」をはじめ，光熱水費及び消耗品費等の経費節減や施設設備の定期的な整備点検・処理に努める。</p> <p>イ 適正かつ効率的な事務処理に努める。</p> <p>ウ 自己及び職員の健康管理等に努める。</p>

行動シート

行動主体名	下甌支所 下甌学校給食センター
課・室・施設長名	中川 一成
組織の使命	<p>本給食センターは、職員2名、学校栄養職員1名、給食調理嘱託員4名で運営している。</p> <p>育ち盛りの子供たちに安全で栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することを使命とする。</p> <p>最近の「地産地消」も取り入れ地元食材の積極的な使用、伝統的な地域の行事食・季節を感じる食材を献立に取り入れるなど、子供たちの「食」への関心を高めるとともに故郷の伝統なども理解してもらい、学校教育活動の土台となる「健康な身体づくり」のための献立づくり、調理に努める。</p> <p>また学校給食会の健全な運営に努めるとともに安全で確実な学校給食を実施する。</p>
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	<p>過疎化、少子化で園児、児童、生徒がますます減少している現状では、ますます財政が逼迫してくるが、施設運営維持は従来と変わらず経費が必要であり、このため合理的な運営のためには給食センターの統合等が考えられる。</p> <p>また給食の配送なども民間委託などの導入も検討する必要がある。</p>
事務改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 財務会計ソフトを導入し迅速な事務処理に努める。 2 事務分掌を見直し、合理的な事務処理に努める。
接遇改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学校、児童生徒からの問い合わせや相談に対しては丁寧で誠意ある対応に努め、即答できない場合も速やかに回答できるよう迅速な事務処理に努める。
経費節減に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 食材納入業者等の再検討をする。 2 所内消耗品等を見直して経費節減に努める。 3 給食業務の民間委託を検討する。